



みたけさん

第6号

令和6年5月1日発行

発行 三嶽神社

編集 権禰宜 新山敏彦

ホームページ <https://mitakejinja.com>



「神は人の敬に依りて威を増し

人は神の徳に依りて運を添う」

三嶽神社宮司 新山敏春

今号の巻頭言のタイトルは北條泰時が定めた『御成敗式目』の第一条に掲げられている一文で、「神さまは人間の尊び敬う心によってそのお力を増し、人間は神さまのお力を戴いて運を開く」という意味です。つまり神さまと人とは一方通行ではなく、お互いがお互いを高めあう存在なのです。

昨今日本人の宗教離れが進んでいると言われ、ある調査によると、60%以上の日本人が何の宗教も信仰していないと感じているのだそうです。元来宗教は祈りを通して人々の気持ちの安定と心の豊かさを齎すものだったはずなのですが、先の大戦後、日本人は国土の復興とともに物的豊かさを求め、その結果、荒廃した貧しい時代を乗り越えて欲しいものが何でも手に入る時代になると、「神への祈り」が必要なくなり、やがて宗教心を失ってきたのではないかなと感じます。そして同時に個人の権利や自由が尊重され、地域コミュニティの希薄化が懸念されるようにもなりました。



今年の元日に能登半島地震が発生しましたが、人の力の及ばない事態が発生したとき、拠り所となるのは、目にはみえなくてもきっと存在するであろうと信じる大きな力ではないかと存じます。そして我々の祖先もそのようにして幾多の危機を乗り越えてきたのであり、そのお陰で地域が発展し、今私たちがここに存在しているのだと言えるのではないのでしょうか。

氏神社の多くは、地域の発展（農業地域にあっては農作物の豊作を含む）と氏子の安寧を願って創建されており、この宮野目の先人も同様の願いのもと、神を敬って境内の整備に尽力されてこられたものと存じます。言い換えれば神さまに奉仕することで神の力が増し、そのお力を戴いて地域が発展し、氏子が安心して暮らすことができるということになるでしょうかと存じます。

そう致しますと、神社と地域は「奉仕」と「ご加護」の関係のもと、互いに発展してきたということができ、今後もその関係は継続していくことが重要です。

皆さまも御成敗式目の一文と地域の先人に想いを馳せつつ、三嶽の大神さまに手を合わせてみませんか。



朔日参り

毎月1日は社殿で拝礼しませんか！

朔日参りとは、月の最初の日に氏神様にお参りすることで、一年の最初の日に元朝参りと称して初詣に行くのと同様に、月を区切りとして神さまに感謝の気持ちを伝えるものです。

そこで三嶽神社では、6月から毎月1日の日供祭は、朔日参りの皆さまにも社殿にお入り戴き、ご一緒に拝礼致したく存じております。

どなたでも無料でご参列戴けますので、毎月1日には是非朔日参りにお越し戴き、午前9時から行う日供祭にご参列下さい。

尚、日供祭にご参列の際は、社殿階段から殿内にお進み下さい。

日供祭(につくさい)…神さまにお食事を供え、皇室の弥栄と国の繁栄、地域の発展と氏子の安寧をお祈りするお祭り。三嶽神社では毎朝9時から行われています。



季節の御朱印

拝受のご案内

現在、オリジナルの御朱印と、お誕生日記念御朱印を頒布しておりますが、5月から毎月、季節の御朱印を頒布することと致しました。

書置きのご朱印ですが(奉書紙印刷・袋入りでのお渡し)、季節を感じられるご朱印ですので、是非社務所にて拝受をお申し出下さい。

12ヶ月拝受された方は、社殿にて正式参拝(お祓いののち、玉串をお供えてご拝礼)戴けます。

5月のご朱印



6月のご朱印



夏越の大祓

参列のご案内

6月30日(日)午前10時より「夏越の大祓」を執り行います。大祓は半年間の罪・穢れをお祓いし、無病息災を祈る儀式です。お越しになられた方々をお祓い致しますので、手水をお済ませののち、社殿前にご参列下さい。



(当社に茅の輪はございません)

令和6年祈年祭並びに火防祭斎行

去る4月14日(日)、祈年祭並びに火防祭が執り行われ、今年の豊作と地域の防火をお祈り申し上げました。

今年も厳しい暑さが予想されておりますが、農家の皆さまの弛まぬ努力により大きな実りの秋を迎えられるようご期待申し上げますとともに、地域から火災が発生しないよう、火の用心には十分ご留意願います。

尚、祭儀に先立ち、石持・巾下・工沢の皆さまに境内の清掃を戴きました。この場をお借りして御礼申し上げます。



能登半島地震神社復興募金の御礼

前号にてお願いしておりました復興募金は、参拝者各位より5千円を超える金額をお預かりし、神社庁花巻支部へ届けて参りました。今後神社本庁を通じて被災県神社庁へ届けられることとなります。各位の御厚情に篤く御礼を申し上げます。

花手水用お花奉納のお願い

今年も清々しい気持ちでご参拝戴くよう花手水を行いますので、ご自宅で育てたお花や貰ったお花などありましたらご奉納賜りたく、ご協力をお願い致します。

